

小学校における発音指導について

関西大学外国語学部 田尻 悟郎

小学校から外国語教育を行うことに関して、最大のメリットの1つに「子どもは音を取るのがうまい」ことが挙げられます。低学年や中学年で外国語に触れる時、児童は聞いたものをそのまま真似をしますから、入門期こそ、外国語の **authentic**（本物の）な発音に触れさせたいものです。

その意味で、発音に自信がない先生が児童に"**Repeat after me.**"と言ってその方の英語を児童に真似させると、間違った発音をくり返し練習し、自らの耳にたたき込むことになり、リスニングが苦手になってしまいます。同じ英文を読んでも、英語ネイティブの人が読む時と異なる音になり、同一の文だと認識できなくなるからです。リスニング問題にチャレンジしたあと、その英文をスクリプトで見た時、「えー、こんなこと言ってたの」と思った経験がある方は、我流の音読になってしまっていたのがその原因だと考えられます。

会話では、意思の疎通や情報の伝達が重要ですから、多少発音が間違っても、文法が間違っても、通じれば OK です。しかし、入試などのリスニング問題で点を取るためには、教科書などを音読する時、ネイティブの真似をして音読練習する必要があります。

正しい音読ができるためには、以下の7つの知識・技能が必要です。

<単語レベル>

1. 文字を音声化できる
2. アクセントの位置が分かる

<文レベル>

3. ストレス・ピッチ（強弱・高低）が分かる
4. イントネーション（上昇調・下降調）が分かる
5. 適切な場所で文を区切れる（センスグループの切れ目での息継ぎ）
6. 感情移入ができる（感心した時の **That's great!** と皮肉っぽい **That's great.** の違い）
7. 音の連結・同化・脱落・崩れが分かる

ですから、英検の2次試験では、カードを渡され、そこに書いてある英文を短時間で理解し、音読するという課題を課せられるのです。音読には英文の理解度が現れるからです。

この中で、「1. 文字を音声化できる」ようになるために行われるのが **phonics**（フォニクス：綴り字と発音の関係を教える教授法）です。そして、綴り字と発音の関係が分かるようになるためには、①英語の発音が分かる・できる、②アルファベットが読める・書け

るという2つの要素が必要です。②は英語の専門家でなくてもできますが、①は専門性が求められます。

小学校で英語教育が開始されたことは、外国語に親しみ、外国語を通してものを見たり考えたりする体験をし、異文化を体験できるなどのメリットを生み出していますが、早期英語教育の最大の利点である「子どもは音の真似がうまい」ことはあまり生かされていません。そこで作り出したのが、ヘアツオン記号（カナと漢字と創作文字を使った発音の表記法）です。

大人はヘアツオン記号を見ると「うわ、何これ（変な文字があるし、数也多そう）」と思いますが、子どもは「何これ？（なんか面白そう）」と思うようで、興味を示してくれます。私は小学生にヘアツオン記号を使って発音指導をすることがありますが、発音が上手になる児童がたくさん出てきます。また、ヘアツオン記号を覚えてしまって、英単語を聞けばそれをヘアツオン記号で表せる児童もいます。

そこで、中学生用に作成していたヘアツオン記号を、小学生用に作り直したのが、本サイトにアップロードしていただいた映像教材です。「発音指導は必要だと考えているけど、自分にはできない」と考えていらっしゃる先生が、授業で活用していただければ幸いです。

もちろん、発音記号を覚えさせることが発音指導の目的ではなく、アルファベットを見ればそれを音声化できることが目的です。ヘアツオン記号は「楽しく読んでいるうちにネイティブ並の発音が身につく」ものであり、発音が身についたら、その発音をどのようにアルファベットで表記するかという勉強に入ります。それがフォニックスであり、前述の「1. 文字を音声化できる」の「①英語の発音が分かる・できる」と「②アルファベットが読める・書ける」という2つの要素を結びつける段階になります。

ご家庭でも使用していただけます。ぜひ、親子で「ヘアツオン記号を読んでいくと、発音がネイティブ並みに近づく」という体験をなさってください。

*営利目的のご使用はご遠慮ください。

ヘアツオン記号の約束事

1. 中抜き・白抜き文字の読み方

中抜き文字は、無声音を表します。「声を出さずに発音」という説明は児童にとって分かりにくいと思われるので、「ひそひそ声で」と表現しました。

【ク】

声を出さず、ひそひそ声で【ク】と読んでください。

【ス】

声を出さず、ひそひそ声で【ス】と読んでください。

【ハ】

あまり口を開けず、声を出さず、ひそひそ声で【ハ】と読んでください。

【プ[◎]】

声を出さず、ひそひそ声で【プ】と読んでください。

【トウ】

声を出さず、ひそひそ声で【トウ】と読んでください。

クのような中抜きの文字は、教室で黒板に書くときは、中抜きで書くのは大変なので、簡単に○で囲んで(ク)のようにします。

ヘアツオン記号では、アクセントの位置は文字を高く上げることで示しています。

【バス】

バス bus

【カプ[◎]】

茶わん、コップ、カップ cup

【ナツ】

木の実 nuts

2. ひらがなの読み方

ひらがなは、ほとんど口を開けず、はっきりとは発音せず、曖昧（いい加減）に発音してください。client の読み方は、辞書を引くと[kláriənt]と表されており、e の部分は[a]と発音されていますが、あまり口を開けずに【え】と発音すればよくにた音になりますし、十分通じます。何よりも、綴りのミスも減ります。capital も辞書では[kæpətl]などと表されており、pi の部分は [pə] となっていますが、ヘアツオン記号では【び】と表記することによって、綴りにマッチしている上に通じる発音をするよう勧めています。

【あ】

口をほとんど開かず、いいかげんに【ア】と発音します。

【か】

口をほとんど開かず、いいかげんに【カ】と発音します。

【け】

口をほとんど開かず、いいかげんに【ケ】と発音します。

【こ】

口をほとんど開かず、いいかげんに【コ】と発音します。

3. 小さな文字の読み方

小さな文字は、小さな声で優しく弱く発音してください。語尾の子音は弱く読まれるので、その結果 bag を「バック」、bed を「ベット」と聞き間違え、「ハンドバック」や「ベットで寝ている」などと言う人がいると思われます。

have fun などでは、ve の部分が優しく弱く読まれることで haf に近くなり、語尾が fun の語頭の[f]と同じ音になることで一度しか読まれず、hafun のような発音になります。「ハブファン」と発音している人は、hafun は聞き取れません。英語では、語尾は丁寧に発音されますが、弱く小さな声になるのが特徴であり、語と語の連結がよく発生します。それが聞き取りを阻害している要因の1つです。

【グ】

小さな声で、優しく【グ】と発音します。

【ドウ】

小さな声で、優しく【ドウ】と発音します。

4. 大きな文字の読み方

father, spa, pasta などの a は口を大きく開けて「アー」と読みますので、大きな文字で表しました。また、car, park などの ar の a もこのヘアツオン記号を使います。国際音声記号 (International Phonetic Alphabet : IPA) では、[ɑ]で表される発音です。

card を curd、park を perk と発音する人がかなりいますが、それぞれ異なる語です。その間違いを防ぐための発音記号です。

[ア]

口を2センチぐらい開けて [ア] と発音します。

[カ]

口を2センチぐらい開けて [カ] と発音します。

5. 創作発音記号（外字）と漢字を使った発音記号

[ヂ]

舌の真ん中あたりを少し上げて [ア] と言います。ニヤッと笑いながら「あ〜、見たぞ〜！」と言う時の [ア] で、[エア] を早口で言っても同じ音を作ることができます。IPA では[æ]と表記される音です。

ba, ha, ma, ta, na など、“子音 + a” は [バヂ] [ハヂ] [マヂ] [タヂ] [ナヂ] のように表し、一気に発音させます。ca, ga も「ア段」ですから、本来 [カヂ] [ガヂ] と表記すべきですが、児童生徒にとっては分かり辛いので、[キヂ] [ギヂ] と表しています。

[イ]

日本語の「イ」は英単語の中では ee, ea, ei, ie や語尾の y, ey などと表される音と同じで、舌を上げて発音します。その音はそのまま [イ] と表します。[イ] は「イ」口の構えのまま、舌だけを下げて [エ] と言った時の音を表す発音記号です。[イ] と [エ] とでも聞こえます。舌を下げて発音するという意味で、下向きの矢印を合体させた外字を作りました。seat / sit, meat / mitt, heat / hit, peak / pick, eat / it などと区別するための記号です。

[う]

くちびるを思い切り丸めて「ウ」と発音します。くちびるが軽くふるえるぐらい丸めるのがコツです。この文字はその時のくちびるの形を表しています。子音の[w]の発音を表すヘアツオン記号です。



[ウ]

唇を丸めず、あごを下げて「ウ」と発音します。「オ」に近い「ウ」を表します。あごを下げるということで、下向きの矢印を合体させました。辞書などでは、[ʊ]（平仮名の「ひ」に近い）あるいは[u]（磁石のような形）などと表されています。book, cook, look の oo がこの音です。

room や food などの oo は日本語の「ウー」と同じ音ですので（辞書の発音記号では[u]）、[ウ] で表します。ヘアツオン記号では、日本語と（ほぼ）同じ音はカタカナで表しています。例えば、bus の bu は日本語の「バ」とほぼ同じ音ですので、[バ] と表します。

[オ]

口を大きく開けて「オ」と発音します。「オ」と「大」を合体させたものです。[ɔ]と表される音です。

例えば、アメリカ英語の hot の発音は、辞書では[há:t]と表されていますが、ヘアツオン記号では【ホオ トウ】と表します。top [tá:p]も【トオ プ】と表します。このように、ヘアツオン記号では、より綴りに近い発音を勧めています。

[ン]

舌の先を上歯の付け根の近くにつけ、唇を少し開けて、鼻から声を出して「ン」、または「ンヌ」と発音します。白い三角形は上歯を表し、「ン」の上の点が三角に触れているのは、舌尖を上歯の付け根付近につけてくださいということを表しています。

英語ネイティブの人は、アルファベットの n を見ると舌尖を上歯の付け根付近につけてしまうので、can you は【キテンヌユー ⇒ キテニュー】となり、in it は【イヌイ トウ ⇒ イニイ トウ】と発音します。決して【キャンユー】や【インイット】にはなりません。それが自然にできるようになるには、n が出たら舌尖を上歯の付け根付近につける習慣を身に付ける必要がありますので、このヘアツオン記号を作りました。辞書などの発音記号では[n]で表される音です。

[ㄣ]

舌の先を下の歯の付け根付近につけ、舌ののどに近い奥のほうを口の中の上の壁の部分（上顎）につけて、鼻から声を出しながら「ング」と発音します。この時の「グ」は鼻から息を抜きながら発音するので、普通の「グ」ほど明確には聞こえません。テレビやラジオのアナウンサーは、助詞の「が」を【ㄣア】と発音します。

この創作文字は、平仮名の「ん」をベースにして作った文字で、左の白抜きの三角形▽が上の歯を、△が下の歯を、右の黒い部分が舌の形と位置を表します。[ŋ]の発音を表しています。

[ㄹ]

唇を閉じて鼻から息を抜き、「ン」または「ンム」と言います。 は、唇を閉じた時の形を表しています。[m]です。

[ㄹ]

日本語の「イ」を発音するときよりさらに舌を上げ、空気があまり通らないようにして「ユィ」と発音します。発音記号は[j]です。

この文字の  は舌を上げてくださいという意味です。

[ㄹ]

上の歯を軽く下唇に当て、声を出さずに息を出します。f や ph で表される音で、発音記号は[f]です。上の歯が下唇に当たっている様子が漢字の「皿」に似ていることから、この漢字を使いました。

[ㄹ]

上の歯を軽く下くちびるに当て、声を出しながら息を出して発音します。[v]の音を表しています。

[丸]

舌をのどの奥の方に引き、口をほとんど開けずに声を出します。その時、平らだった舌が餅のように丸くなるので「丸」という漢字で表しました。舌先は口の中のどこにもつきません。[r]の音を表しています。舌の裏を相手に見せるような気持ちで反らせ、口をほとんど開けずに声を出しても同じような音を作ることができます。

[丸]

【丸】と同じ発音です。「丸」という漢字の中にカタカナの「ア」が入っていますが、これは【丸】(=[r])と読んでもいいし、または口をあまり開けずに「ア」(=[ə])と発音してもかまいませんという意味です。

口をほとんど開けずに「あ」と言うので、本当は平仮名にすべきですが、外字を作る際に「丸」という漢字の中に小さな「あ」を入れるのが至難の業だったので、諦めました。辞書などの発音記号では[ə:r]や[ər]のように[r]がイタリックにしてあったり、[æ: | ə:]などと表されています。これは、アメリカやカナダでは[ə:r]や[ər]と発音されますが、イギリスなどでは“母音+r”は舌を喉の奥に引っ込めないで[ə]や[ə:]と発音されるので、イタリックの[r]は発音しても、無視しても、どちらでもいいですよ、という意味です。ヘアツオン記号でもそのことを表す必要があると考え、【丸】という外字を作成しました。

なお、ヘアツオン記号では、語頭や語中の[ə:r]も、語尾の[ər]も【丸】というふうに、同じ表記にしています。また、発音記号は母音だけにアクセント記号がおかれますが、ヘアツオン記号では、児童生徒に分かりやすいように“子音+母音”でひとかたまりにしていますので、“子音+母音”とも高い位置に挙げてアクセントを表しています。

(〔例〕 work [wə:rk] [う丸^ク]、worker [wə:rkər] [う丸^{か丸}])

[丸]

これも選択制のヘアツオン記号で、【丸】または【**オ**丸】のどちらで発音してもかまいません、という意味で「丸」という漢字の中に「**オ**」という文字を入れました。辞書などの発音記号では、[ɔ:r]や[ɔr]、または[ɒæ:]や[ɒæ]と表されています。

なお、ヘアツオン記号では、語頭や語中の[ɔ:r]も、語尾の[ɔr]も【**オ**丸】というふうに、同じ表記にしています。(〔例〕 order [ɔ:rdər] [**オ**丸^{だ丸}]、guarantor [gæərəntɔ:r] [**ギテ丸**あ**ントオ丸**])

[伸]

舌の先をまっすぐ伸ばして、上の歯のつけ根の近くにつけて声を出して発音します。そのままだと「ウ」にも聞こえますが、声を出したまま舌を離すと「ル」に近い音になります。[l]の音を表しています。「にんべん」をカタカナの「ル」にしてあります。

[舌]

舌を1センチほど歯の間から出して、上の歯と舌の間から声を出さずに息を出して発音します。[θ]の音を表しており、単語の中ではthがその音を表します。

[舌]

舌を1センチほど歯の間から出して、上の歯と舌の間から声を出さずに息を出して発音します。[ð]の音を表しており、[θ]と同じく単語の中ではthがその音を表します。

【皿】、【丸】、【伸】、【舌】を、体を使って覚えるために考案したのが、「さらまるのびるしたダンス」です。これをすると、後に英文を読んだり会話練習をする際に f, v, r, l, th の発音がきちんとできていない時、「th は上の歯と下の歯の間から舌を1cm出さなきゃ」と言いながら両手と頭を使ってジェスチャーするなどして、体を使って舌、歯、唇の位置を確認すると、児童生徒の体と口の動きも連動します。

音楽に合わせて行うのがポイントで、グループで全員が揃ったら合格、などすると、お互い教え合いながら、協力して練習し、できた時はガッツポーズが飛び出します。ぜひ、チャレンジしてみてください。

6. 息をはきながら発音するものと、息をためてから一気に破裂させるもの

日本語では「ズ」と「ヅ」は同じ音を表すことが多いのですが、それに対して、英語では stations の語尾は息を抜きながら[z]と発音しますので【ズ^テエイションズ】となりますが、sounds の語尾は[dz]を一気に言ってしまうので、「サウンズ」のように発音されます。これをヘアツオン記号では【サウンツ】と表しています。【ズ^テ】は摩擦音で、【ヅ^ツ】は破裂音ですから、ヘアツオン記号では【ズ^テ】は摩擦音、【ヅ^ツ】は破裂音を表す、としました。

【ジュ】と【ヂュ】も同様です。【シユ】は摩擦音で、【ヂュ】は破裂音ですから、ヘアツオン記号では【ジュ】は摩擦音[ʒ]を、【ヂュ】は破裂音[dʒ]を表す、としました。

なお、ソーセージは【ソオヘスイチュ】と表しています。【ジュ】に合わせて【ヂュ】のように【ユ】を入れました。

【ステエイしお^ンズ】に関してですが、【ステイしお^ンズ】と表すと、【テイ】の部分を「ティ」と混同する児童生徒が見受けられたので、【エ】を加えました。Sunday も【サンデイ】と表記すると、【サンディ】と混同する児童生徒がいるので、【サンデエイ】と表記しています。

7. 一気に発音するもの

下線が引いてある部分は、最初から舌をのどの奥に引っ込めて、口をほとんど開けずに一気に発音します。

【か丸】 = [kə(:)r]

【が丸】 = [gə(:)r]

【た丸】 = [tə(:)r]

【だ丸】 = [də(:)r]

【さ丸】 = [sə(:)r]

【ざ丸】 = [zə(:)r]

【は丸】 = [hə(:)r]

【ば丸】 = [bə(:)r]

【ぱ丸】 = [pə(:)r]

【ちゃ丸】 = [tʃə(:)r]

【ぢゃ丸】 = [dʒə(:)r]

【しゃ丸】 = [ʃə(:)r]

【じゃ丸】 = [ʒə(:)r]

【な丸】 = [nə(:)r]

【ま丸】 = [mə(:)r]

【なあ丸】 = [θə(:)r]

【舌あ丸】 = [ðə(:)r]

【フあ丸】 = [fə(:)r]

【皿あ丸】 = [və(:)r]

【伸あ丸】 = [lə(:)r]

【うあ丸】 = [wə(:)r]

【ンあ丸】 = [ŋə(:)r]

【丸あ丸】 = [rə(:)r]

8. 音の足し算クイズ

音の足し算は、dr, tr, thr のトレーニングのために入れました。例えば、drink は d + ring に分けると、どうしても dorink のような発音になってしまいます。train も torain のように発音してしまうのは、日本語には d や t が単独で表す音がなく、最も近い「ド」や「ト」にしてしまうのが原因だと考えられます。それを防ぐために、drink は dr + ink、train は tr + ain と分け、それが合体させるトレーニングを行います。

これは、for ever が「フォーエバー」ではなく、[お丸エあ丸] と連結したり、far away が「ファーアウェイ」ではなく、[ア丸あエイ] と連結することにつながります。[あ丸] は third, thirty, thirteen, Thursday などの出だしの音ですが、three の出だしの音でもあります。third, thirty, thirteen, thir-ree と言うと、皆さんも three の音が上手に出せるようになりますよ。

なお、英語ネイティブの人が Great! を大げさに言う時は、Greeeeeat! ではなく、Grrrrrreat! というふうに、gr をひとかたまりにします。

[だ丸] + [イんク] = drink
[だ丸] + [エズ] = dress
[だ丸] + [アへま] = drama
[だ丸] + [アイ] = dry

[た丸] + [イへ] = tree
[た丸] + [アク] = truck
[た丸] + [アイ] = try
[た丸] + [エイン] = train

[あ丸] + [イへ] = three
[あ丸] + [オウ] = throw
[あ丸] + [ウへ] = through
[あ丸] + [イ呻] = thrill

ヘアツオン記号の映像教材は、ご家庭や学校でご自由にお使いください。なお、参加料を徴収される研修会等で使われるのはかまいませんが、営利目的に使わないようお願いいたします。また、このプリントを印刷などされたり、配布されたり、教材として使われることはかまいませんが、販売されている書物や教材等をコピーして配布されることは法に触れることになりますので、ご注意ください。

次ページからの付録もご自由にお使いください。

問題1 音の足し算にチャレンジ！ それぞれどんな意味の単語でしょうか。当ててみてください。

1. **【が丸】** + **【イヘン】**
2. **【が丸】** + **【ウヘフ】**
3. **【が丸】** + **【エイトゥ】**
4. **【あ丸】** + **【アイ】**
5. **【あ丸】** + **【エンドウ】**
6. **【あ丸】** + **【オグ】**
7. **【か丸】** + **【オス】**
8. **【か丸】** + **【イヘン】**
9. **【か丸】** + **【エイオン】**
10. **【か丸】** + **【イスマス】**
11. **【ぱ丸】** + **【ウヘン】**
12. **【ぱ丸】** + **【インス】**
13. **【ぱ丸】** + **【エズントウ】**
14. **【ぱ丸】** + **【エドウ】**
15. **【ぱ丸】** + **【アウン】**
16. **【ぱ丸】** + **【オコシリ】**

<解答>

1. gr [グ丸] + een [イヘン] = green [グ丸イヘン] 緑色
2. gr [グ丸] + oup [ウヘプ] = group [グ丸ウヘプ] グループ
3. gr [グ丸] + eat [エイ トウ] = great [グ丸エイ トウ] すばらしい、偉大な
4. fr [フ丸] + y [アイ] = fry [フ丸アイ] 油を引いて焼く
5. fr [フ丸] + iend [エンドウ] = friend [フ丸エンドウ] 友だち
6. fr [フ丸] + og [オグ] = frog [フ丸オグ] カエル
7. cr [ク丸] + oss [オス] = cross [ク丸オス] 十字架、クロスする
8. cr [ク丸] + eam [イヘン] = cream [ク丸イヘン] クリーム
9. cr [ク丸] + ayon [エイオン] = crayon [ク丸エイオン] クレヨン
10. chr [ク丸] + istmas [イスマス] = Christmas [ク丸イスマス] クリスマス
11. pr [プ丸] + une [ウヘン] = prune [プ丸ウヘン] プルーン
12. pr [プ丸] + ince [インス] = prince [プ丸インス] 王子
13. pr [プ丸] + esent [エズントウ] = present [プ丸エズントウ] プレゼント
14. br [ブ丸] + ead [エドウ] = bread [ブ丸エドウ] パン
15. br [ブ丸] + own [アウン] = brown [ブ丸アウン] 茶色、茶色の
16. br [ブ丸] + occoli [オコツイ] = broccoli [ブ丸オコツイ] ブロッコリー

問題2 次のヘアツオン記号を読んでみましょう。

[チ] [ア] [ア] [あ]

[イ] [イ]

[オ] [オ]

[ウ] [ウ]

[舌] [舌] [舌]

[皿] [皿] [皿]

[トウ] 2 とおり 2 とおり

[丸] [丸] [丸]

[伸]

[ろ]

[ユ]

[ん] [ン] [ン]

問題3 次のヘアツオン記号を読んでみましょう。上に上がっている文字は、音を高く上げて読みましょう。白抜きの文字は、声を出さずに読みます。下線部は最初から舌を喉の奥に引っ込めて口を開けずに発音しましょう。

1. [テイ^ヘ 皿^ヘイ^ヘ]
2. [ば ナ^ヘテ^ヘ な]
3. [ご 丸^ヘイ^ヘ 伸^ヘあ]
4. [と メ^ヘイ^ヘ ト^ヘオウ]
5. [ミ^ヘイ^ヘ 伸^ヘク]
6. [キ^ヘテ^ヘ ん^ヘが^ヘ 丸^ヘウ^ヘ]
7. [ギ^ヘイ^ヘ タ^ヘ 丸^ヘ]
8. [キ^ヘテ^ヘ め^ヘ 丸^ヘあ]
9. [ド^ヘオウ^ヘ ナ^ヘトウ]
10. [ケ^ヘイ^ヘク]
11. [バ^ヘテ^ヘ ス^ヘ け^ヘトウ^ヘ ボ^ヘオー^ヘ 伸^ヘ]
12. [コウ^ヘ ア^ヘ 伸^ヘあ]
13. [キ^ヘテ^ヘ 伸^ヘエン^ヘ ドウ^ヘ丸^ヘ]
14. [ソ^ヘオ^ヘ ク^ヘ丸^ヘ ボ^ヘオー^ヘ 伸^ヘ]
15. [伸^ヘエ^ヘ も^ヘン]
16. [キ^ヘテ^ヘ ビ^ヘイ^ヘ チュ]
17. [ピ^ヘイ^ヘ テ^ヘ ノウ]
18. [グ^ヘ 伸^ヘア^ヘ 皿]
19. [オ^ヘ シ^ヘ 伸^ヘエ^ヘ トウ]
20. [ス^ヘイ^ヘ 丸^ヘイ^ヘ あ^ヘ 伸^ヘ]
21. [ヨウ^ヘ グ^ヘ丸^ヘ トウ]
22. [ブ^ヘ 丸^ヘエ^ヘ ドウ]
23. [ハ^ヘテ^ヘ シ^ヘ ブ^ヘ丸^ヘ グ^ヘ丸^ヘ]
24. [ホ^ヘ オ^ヘツ^ヘ ド^ヘオグ]
25. [ソ^ヘオ^ヘ ス^ヘイ^ヘ チュ]
26. [サ^ヘテ^ヘ ン^ヘ ドウ^ヘ ラ^ヘイ^ヘ チュ]
27. [グ^ヘ 丸^ヘイ^ヘ ン^ヘ テ^ヘイ^ヘ]
28. [皿^ヘ 丸^ヘアイ^ヘ デ^ヘグ]
29. [パ^ヘ 丸^ヘ 皿^ヘエ^ヘ イ]
30. [皿^ヘ 丸^ヘアイ^ヘ ッ^ヘ チ^ヘイ^ヘ キ^ヘイ^ヘン]
31. [ク^ヘ う^ヘあ^ヘ サ^ヘン^ヘ トウ]
32. [ク^ヘ丸^ヘ 丸^ヘイ^ヘ あ^ヘン^ヘドウ^ヘ 丸^ヘアイ^ヘス]
33. [ス^ヘ ブ^ヘ丸^ヘ マ^ヘ丸^ヘ け^ヘトウ]
34. [丸^ヘエ^ヘ ス^ヘ トウ^ヘ 丸^ヘあ^ヘン^ヘ トウ]
35. [ブ^ヘウ^ヘ ク^ヘ ス^ヘト^ヘオ^ヘ丸^ヘ]
36. [皿^ヘ 伸^ヘア^ヘウ^ヘ丸^ヘ シ^ヘオ^ヘブ]

問題4 次のヘアツオン記号を読んでください。上に上がっている文字は、音を高く上げて読みましょう。白抜きの文字は、声を出さずに読みます。下線部は最初から舌を喉の奥に引っ込めて口を開けずに発音しましょう。

1. [トウ 丸チ 皿 伸]
2. [シ丸 メ イ ドウ]
3. [シ丸 キュ 丸イ]
4. [ヂュツ ピ イ トウ 丸]
5. [舌丸 ズ デ エ イ]
6. [こ 丸エ ク トウ]
7. [う エ 丸 丸 イ ン]
8. [グ丸 伸 皿 丸 エ ン ドウ]
9. [グウツ へ 伸 ア ク]
10. [舌 あ カ 丸 プ ス トウ 丸 イ へ シ 丸]
11. [皿 オ 丸 チュン テ 伸 イ ン]
12. [ネ ク ス トウ 丸 イ へ トウ]
13. [こ シ プ 伸 イ へ トウ]
14. [丸 イ 伸 エ イ シ お ン シ イ プ]
15. [丸 イ ス 丸 チュ]
16. [トウ 丸 ナ 丸 ア ウ ン ドウ]
17. [ビー ケ 丸 皿 ウ 伸 お 皿]
18. [テ 伸 エ ポ 丸 テ エ イ シ お ン]
19. [チ エ ク 丸 イ パ プ 伸 イ ク]
20. [こ ン グ 丸 チ チュ 伸 エ イ シ お ンズ]

問題5 次のヘアツオン記号を読んでみましょう。

1. [丸 舌]
2. [う 丸 シ]
3. [う 丸 伸 ドウ]
4. [フ ウ ドウ]
5. [丸 チ シ プ 伸 丸]
6. [チ ン ゼ エ 伸 イ ク]
7. [ス テ 伸 舌 イ]
8. [皿 テ ビ ユ 伸 イ ス トウ]
9. [マ チ か 丸 ウ へ ン]
10. [う ウ ドウ ニ イ シ 皿]
11. [丸 エ ミ イ ニ イ セ ン ス]
12. [ヂ テ キ イ ン 舌 あ ボ オ ク ス]
13. [舌 丸 イ 伸 イ ン]
14. [カ 丸 ドウ ボ 丸 ドウ]
15. [ク 丸 イ サ チ ン 舌 エ マ シ]
16. [丸 イ ー イ ン カ 丸 ネ イ トウ]
17. [ボ オ デ イ サ チ トウ 皿 あ]
18. [ボ オ 伸 テ イ モ 丸 オ へ 丸 イ オ ウ 伸 ズ]
19. [舌 あ 伸 チ ソ ウ 舌 エ 丸 あ ピ イ]

9. ローマ字表：基本読み（短母音）を覚えよう

a [ア]	i [イ]	u [ウ]	e [エ]	o [オ]
ka [キカ]	ki [キイ]	ku [カ]	ke [ケ]	ko [コオ]
sa [サチ/ザチ]	si [スイ/ズイ]	su [サ/ザ]	se [セ/ゼ]	so [ソオ/ゾオ]
ta [タチ]	ti [ティ]	tu [タ]	te [テ]	to [トオ]
na [ナチ]	ni [ニイ]	nu [ナ]	ne [ネ]	no [ノオ]
ha [ハチ]	hi [ヒイ]	hu [ハ]	he [ヘ]	ho [ホオ]
ma [マチ]	mi [ミイ]	mu [マ]	me [メ]	mo [モオ]
ya [ヤチ]	yi [スイ]	yu [ヤ]	ye [スエ]	yo [ヨオ]
ra [丸チ]	ri [丸イ]	ru [丸ア]	re [丸エ]	ro [丸オ]
wa [ワチ]	wi [ワイ]	wu [ワア]	we [ワエ]	wo [ワオ]
ga [ギチ]	gi [ギイ/ヂイ]	gu [ガ]	ge [ゲ/ヂエ]	go [ゴオ]
za [ザチ]	zi [ズイ]	zu [ザ]	ze [ゼ]	zo [ゾオ]
da [ダチ]	di [ディ]	du [ダ]	de [デ]	do [ドオ]
ba [バチ]	bi [ビイ]	bu [バ]	be [ベ]	bo [ボオ]
ja [ヂチ]	ji [ヂイ]	ju [ヂア]	je [ヂエ]	jo [ヂオ]
pa [パチ]	pi [ピイ]	pu [パ]	pe [ペ]	po [ポオ]

ローマ字表に載っていないもの（基本読み）

ca [キテ]	ci [スイ]	cu [カ]	ce [セ]	co [コオ]
fa [フテ]	fi [フィ]	fu [フア]	fe [フェ]	fo [フォ]
la [ラテ]	li [ライ]	lu [ラア]	le [レ]	lo [ロ]
va [ヴァ]	vi [ヴィ]	vu [ヴァ]	ve [ヴェ]	vo [ヴォ]
xa [クサテ／ グザテ]	xi [クスイ／ グズイ]	xu [クサ／ グザ]	xe [クセ／グゼ]	xo [クソオ／ グゾオ]
cha [チャ／キテ／ シテ]	chi [チイ／キイ／ シイ]	chu [チャ／シア]	che [チェ／ケ／ シェ]	cho [チオ／コオ]
—	gui [ギイ]	—	gue [ゲ]	—
pha [フテ]	phi [フィ]	phu [フア]	phe [フェ]	pho [フォ]
qua [クワテ]	qui [クワイ]	—	que [クエ]	quo [クワオ]
sca [スカテ]	sci [スイ]	scu [スカ]	sce [セ]	sco [スコオ]
sha [シテ]	shi [シイ]	shu [シア]	she [シェ]	sho [ショ]
tha [テ／舌テ]	thi [ティ／舌イ]	thu [テ／舌ア]	the [テ／舌エ]	tho [ト／舌オ]
wha [ワテ]	whi [ワイ]	—	whe [ウェ]	—
wra [ワテ]	wri [ワイ]	wru [ワア]	wre [ウェ]	wro [ワオ]

10. ローマ字表：名字読み（長母音）を覚えよう

a [エイ]	i [アイ]	u [ユー]	e [イー]	o [オウ]
ka [ケイ]	ki [カイ]	ku [キュー]	ke [キー]	ko [コウ]
sa [セイ/ゼイ]	si [サイ/ザイ]	su [スー/スー/ ズー/ズー]	se [スィー/ ズィー]	so [ソウ/ゾウ]
ta [テイ]	ti [タイ]	tu [テュー/トゥー/ チュー]	te [ティー]	to [トオウ]
na [ネイ]	ni [ナイ]	nu [ニュー]	ne [ニー]	no [ノウ]
ha [ヘイ]	hi [ハイ]	hu [ヒュー]	he [ヒー]	ho [ホウ]
ma [メイ]	mi [マイ]	mu [ミュー]	me [ミー]	mo [モウ]
ya [スエイ]	yi [ヤイ]	yu [スウー]	ye [スイー]	yo [ヨウ]
ra [丸エイ]	ri [丸アイ]	ru [丸ウー]	re [丸イー]	ro [丸オウ]
wa [ワエイ]	wi [ワアイ]	—	we [ワイー]	wo [ウォウ]
ga [ゲイ]	gi [ヂアイ]	gu [ギュー]	ge [ヂー]	go [ゴウ]
za [ゼイ]	zi [ザイ]	zu [ズー]	ze [ズィー]	zo [ゾウ]
da [デエイ]	di [ダイ]	du [デュー/ヂウー]	de [ディー]	do [ドオウ]
ba [ベイ]	bi [バイ]	bu [ビュー]	be [ビー]	bo [ボウ]
ja [ヂエイ]	ji [ヂアイ]	ju [ヂュー]	je [ヂー]	jo [ヂョウ]
pa [ペイ]	pi [パイ]	pu [ピュー]	pe [ピー]	po [ポウ]

ローマ字表に載っていないもの（名字読み）

ca [ケイ]	ci [サイ]	cu [キュー]	ce [スィー]	co [コウ]
fa [ファエイ]	fi [フィアイ]	fu [フュー]	fe [フェイー]	fo [フォウ]
la [ラエイ]	li [リアイ]	lu [ルー]	le [レイ]	lo [ロウ]
va [ヴァエイ]	vi [ヴィアイ]	vu [ヴュー]	ve [ヴェイー]	vo [ヴォウ]
xa [クセイ／ グゼイ]	xi [クサイ／ グザイ]	xu [クスュー／ グズュー]	xe [クスィー／ グズィー]	xo [クソウ／ グゾウ]
cha [チェイ／ケイ]	chi [チャイ／カイ]	chu [シュー]	che [キー]	cho [チョウ／コウ]
—	gui [ガイ]	—	gue [ギー]	—
pha [ファエイ]	phi [フィアイ]	phu [フュー]	phe [フェイー]	pho [フォウ]
qua [クワエイ]	qui [クワイ]	—	que [クワイ]	quo [クワウ]
sca [スケイ]	sci [サイ]	scu [スキュー]	sce [スィー]	sco [スコウ]
sha [シェイ]	shi [シャイ]	—	she [シー]	sho [ショウ]
tha [テエイ／ 舌エイ]	thi [テアイ／ 舌アイ]	thu [チュー]	the [テイー／ 舌イー]	tho [テオウ／ 舌オウ]
wha [ワエイ]	whi [ワイ]	—	—	who [ホウ]
—	wri [ワアイ]	—	—	wro [ワオウ]

11. y の 3 種類の発音

y ① : bicycle, gym, system, mystery, crystal, syrup, cymbal, pyramid, rhythm, cynical

y ② : July, nylon, dynamic, dynamite, hybrid, hydrogen, typhoon, cyborg, tyrant

y ③ : study, happy, easy, lucky, angry, sleepy, heavy, baby, lady, funny, fancy, really

y ④ : by, my, shy, cry, try, fry, fly, sky, sly, spy, dry

y ⑤ : bye, cycle, dye, style, type, rye, byte, Hyde, thyme

① i の基本読みと同じ読み方で、舌を下げて発音する	② i の名字読みと同じ読み方	③ 語尾の y は ea, ee, ei, ie, -ey などと同様、舌を上げて発音する	④ 語尾の y が語中で唯一の母音の場合、i の名字読みと同じ	⑤ 語尾のマジック “e” によって i の名字読みと同じになる
[ɪ] [イ]	[aɪ] [アイ]	[i] [イ]	[aɪ] [アイ]	[aɪ] [アイ]

問題 6

では、総復習です。以下のカードを見て、基本読みと名字読みを連続して言ってみてください。例えば、fo ならば [fə / fou]、the ならば、[θe / θi:]、[ðe / ði:] と言ってください。先生が無作為に指す 10 枚のカードを 40 秒以内に言うことができれば合格です。

pa	de	gi	bu	so
ke	hi	fu	lo	na
ro	mu	we	zi	ya
ju	ho	za	te	xi
pi	du	ga	be	jo
da	ce	fo	cy	nu
re	mo	tu	xa	ty
shi	pha	cho	the	whi
wra	qua	sho	gui	chi
she	pho	qui	thu	wha
wro	cre	cli	pri	pro
clu	sca	flu	sto	ple
tru	dri	bla	ste	chro
thru	chri	sche	stra	sce
spli	scra	intru	explo	comple

付 録

12. 母音の3番～7番読み

大／小	①番読み (基本読み)	②番読み (名前読み)
A／a	【ア】	【エイ】
E／e	【エ】	【イー】
I／i	【イ】	【アイ】
O／o	【オ】	【オー】
U／u	【ア】	【ユー】
Y／y	【イ】	【アイ】

大／小	③番読み	④番読み	⑤番読み	⑥番読み	⑦番読み
A／a	【オ】	【エ】	【アー】	【あ】	
E／e	【イ】				
I／i	【イー】				
O／o	【ア】	【ウー】	【ウ】	【あ】	
U／u	【ウ】	【ウー】	【イ】	【あ】	【エ】
Y／y	【イ】				

13. その他のルール

1. 語頭の s は【ス】と読む
2. 連続する同じ子音（同じ音）は1回だけ読めばよい
3. 連続する同じ子音の直前の母音は基本読み
4. 語尾の e は原則として読まない -ble -cle -dle -fle -gle -kle -ple -tle -zle
5. マジック“e”は直前の母音を名前読みにさせる働きがある
6. 単語の最後が e であり、それがその単語の唯一の母音であるときは、その e は【イー】と発音する
7. 単語の最後が y であり、それがその単語の唯一の母音であるときは、その y は【アイ】と発音する
8. c は直後に a, u, o, または子音がきている場合は【ク】、i, e, y がきているときは【ス】と読む
9. 語尾の c は【ク】、語尾の ce は【ス】と読む

10. 語尾の g は【グ】、語尾の ge は【ヂュ】と読む
11. g は直後に a, u, o, または子音がきている場合は【グ】、i, e がきているときは【グ】
または【ヂュ】、y がきているときは【ヂュ】と読む
12. 「ン」は原則として b, p, m の直前は m、それ以外は n で表す
13. 語頭の s 【ス】と読む
14. 語頭の su は【シュ】と読むことがある（〔例〕 sugar, sure）
15. 英語では v で終わる単語はない
16. 語尾の en, on, el（アクセントがこない場合）はその部分の母音を読まないことが多い。
17. 語尾の que は【ク】、語尾の gue は【グ】と読むことが多い
18. 語尾の en, on, el はアクセントがこない場合、その e や o を発音しない

14. 特殊編

1) ch	2) cia	3) ck	4) dge	5) ds	6) ng
7) ph	8) qu	9) sc	10) sh	11) tch	12) th
13) ti	14) ts	15) ai	16) al	17) au	18) augh
19) aw	20) ay	21) ea	22) eau	23) ee	24) ei
25) eo	26) eu	27) ew	28) ey	29) ie	30) igh
31) oa	32) oe	33) oi	34) oo	35) ou	36) ough
37) ow	38) oy	39) ue	40) ui	41) uy	42) air
43) ar	44) are	45) ear	46) eer	47) er	48) ere
49) ir	50) ire	51) oar	52) oor	53) or	54) ore
55) our	56) ur	57) ure	58) ould	59) ous	60) sio
61) ssio	62) tain	63) ture	64) view	65) ange	66) aste
67) ind	68) old	69) age	70) -tes	71) -des	72) kn
73) mb	74) stle	75) wh	76) wr		

*詳細は拙著『楽しいフォニックス』（教育出版）をご参照ください。